

月刊 かわごえ環境ネット



2019年11月号 No.157

<https://kawagoekankyo.net>

2019年11月2日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

「進む温暖化 現状・対策」講演会

第1回SDGsエコフォーラム in 埼玉

環境講演会
「埼玉 進む温暖化 現状と対策」

2050年のエネルギーの未来を予測する
 会場 南公民館（ウエスタ川越1階） 講座室1・2号

2019年 11/9（土）
 9:30～12:00
 参加費無料

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

埼玉県都市では、昨年7月に41.1℃の日本最高気温を観測する等、近年温暖化の進行が実証される事例が増えています。一方、政府は温室効果ガスを2030年には26%、2050年には80%削減を目標にしており、既成社会を自給した新たなエネルギーの未来像が示されています。この目標はSDGs7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、13「気候変動に具体的な対策を」の要求とも合致します。本講演会では埼玉県を中心に、温暖化の現状と課題、対策をわかりやすく解説するとともに、受講者と一緒に2050年におけるエネルギー社会をシミュレーションする試みも行予定です。

講演内容

第1部 講演「埼玉 進む温暖化 現状と対策」
 ▶温暖化の現状（日本、埼玉）
 ▶温暖化対策（緩和、適応）

第2部 2050年のエネルギー社会シミュレーション
 ▶「2050 脱炭素ナビ」脱炭エネルギー高給モデルを用いて、2050年におけるエネルギーの未来像を予測する。

講師

埼玉県環境科学国際センター 研究企画室長 前田 知 英氏

申し込み 10月1日（木）11時より 先着60名
 主催 かわごえ環境ネット
 参加申込先 川越市環境部環境政策課
 電話 049-224-5866 メール kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

第1回SDGsエコフォーラム in 埼玉

つながろう 広がる 世代を超えて

エコの環

日時 2019年12月14日
 10:00～16:30
 会場 東洋大学 川越キャンパス 7号館、2号館

参加無料 定員 500名

これまで18年間にわたり開催してきた「環境まちづくりフォーラムin埼玉」の実績を継ぎ、持続可能な社会の構築を見据えた新たな取組として今年度の開催します。県内において環境を中心とする活動を実践している団体、企業、行政、教育機関、地球温暖化防止活動推進員等が一堂に集い、情報交換・相互交流及び情報発信を通じて、SDGsの達成に寄与することを目的とします。

主催：第1回SDGsエコフォーラムin埼玉実行委員会
 共催：東洋大学、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、パルクア21埼玉
 後援：埼玉県（環境・自然・エネルギー部）、川越市（環境部）
 可決機番「平成31年度 地域における地球温暖化防止活動推進事業」の一環で開催します。

11月9日（土）南公民館（ウエスタ川越内）で開催。定員60名。（詳細12面）

12月14日（土）東洋大学川越キャンパスで開催。定員500名。（詳細13面）

目次

コラム	川越の自然をたずねて (79)	生きものは自然環境を示します—安比奈親水公園の3年間— 2-3
	川越の「宝」をたずねて (5) 3-4
	社会環境部会から提言 (11)	国連気候行動サミットとグレタ・トゥーンベリさんの活動 ... 4-6
報告	かわごえ環境ネットの活動 (2題) 7-8
	会員の活動 (2題) 9-10
	理事会・専門委員会 (2題) 10-11
予告	かわごえ環境ネットのおしらせ・主催・後援・出展行事 (6題) 12-15
	会員・関係団体の主催・関連行事 (8題) 15-18
	広報委員会からのおしらせ 18-19
	イベントカレンダー (11月3日～12月25日) 20



【コラム】川越の自然をたずねて (79) 生きものは自然環境を示しますー安比奈親水公園の3年間ー



がんばって暑さに負けず調査



カトリヤンマ

安比奈親水公園で3年間に観察できた生きもの

目名	科数	種類数
コウチュウ	15	28
カメムシ	9	16
チョウ	8	23
ハチ	8	16
トンボ	5	15
バッタ	5	9
ハエ	2	3
アミメカゲロウ	2	2
ゴキブリ	2	2
クモ	1	2
トビケラ	1	1
ハサミムシ	1	1
両生類		3
爬虫類		2
その他		2

入間川の中流に位置する安比奈親水公園で3年間、昆虫調査を行ってきました。毎年8月に公園内の自然林と小河川周辺を回りながら昆虫を探しました。調査結果から見えてくる昆虫の生態で知りえたことを報告します。

1. 安比奈親水公園および周辺の環境

総面積約 16,000m² で芝生、運動場、花壇の人工の空間と河川敷、シンジュの自然林、真竹の林、樹液の出る樹木、公園内を流れる小河川とその周辺の草はらと多様な環境が存在します。

また、用水路沿いには田んぼが耕作されています。

2. 観察した昆虫など

3年間で観察できた生きものは、昆虫13目と両生類および爬虫類です。観察できた昆虫ではコウチュウが最も多くの種類を見つけることができました。コウチュウは現在、最も繁栄した生きもので、食性も多様で多くの環境に進出しており、この公園では樹液にカブトムシやカナブンが、樹木の花や葉にはアオドウガネなどの草食性コガネムシが見つかります。2018年の台風で倒木したシンジュに、ヤマトタマムシが産卵にきていました。

チョウも多く観察できます。それは、チョウの食草や蜜源が多く存在すること、開けた場所や暗い環境があることが、多種類のチョウの棲息を可能にしています。とりわけジャコウアゲハは、食草と暗い環境に棲息するので幼虫まで見ることができます。

この地は、トンボのサンクチュアリとなっており、水田でヤゴを過ごし、トンボになって暗い竹林で休息するカトリヤンマが棲息しています。また、絶滅が心配されるヒメアカネもおり、水田や河川が近い環境と林の存在が、これらのトンボの生息を可能にしています。春に行うヤゴ調査では、オナガサナエ、ホンサナエが継続的に見つかり、トンボの生息環境としてよい環境であることを示しています。

ハチは16種類見つかりましたが、ここの生態系の上位に位置しており、樹液で数種類のスズメバチが樹液をなめているのを見ることができます。主にコアシダカクモを狩るベッコウバチが林縁で見つかり、間接的にクモの存在を示しています。

カメムシの中で最も多いのはセミで、地域種のみかドミンミンがいます。関越自動車道沿いに多い理由はまだわかっていません。一度クマゼミの声を聞き、気温上昇の影響が懸念されます。また、2000年から広がった外来種のヨコヅ

ナサシガメも見られます。

バッタは、草はらも水辺近くや河川敷に残されており、トノサマバッタなど主な種類を見ることができます。見かける機会が少なくなったクルマバッタモドキが棲息できる、開けて明るい草はらがあります。また、これらを捕食するカマキリも出現します。

3. 安比奈親水公園の環境と昆虫について

この公園は、人が極端に攪乱した芝生や花壇、運動場の開放的な空間と、人が入りにくい自然の遷移に任せたシンジュ林と竹林、それに入間川と水田への用水路と、人の管理が多少行われている環境があります。また、公園の周辺には畑や水田があり、生きものが棲む環境をより多様にしています。

その中で、昆虫は固有種も多く生息しており、外来種も時たま見ることができますが、まだ基本的には在来種がほとんどを占めています。そして、コウチュウは多様な環境に適応して生息しているのがわかります。

生態系のつながりは、食草から一次消費者の

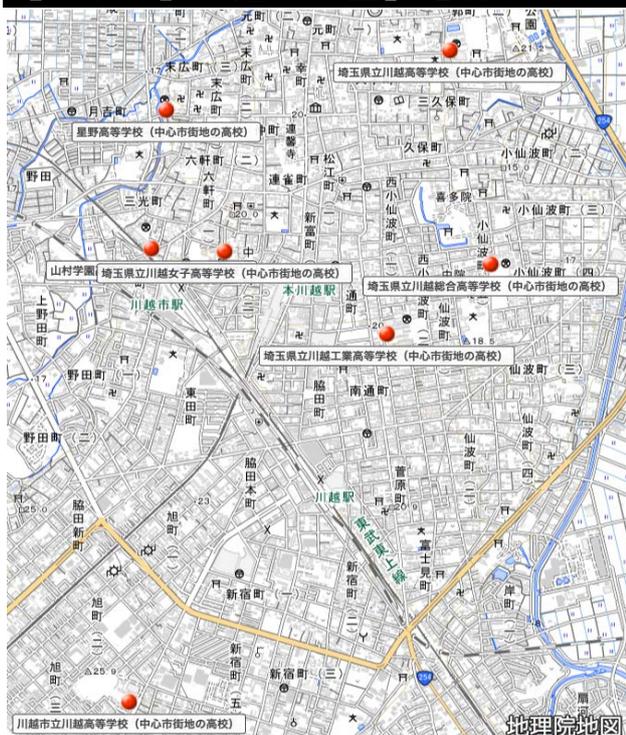
バッタ、チョウ、セミがおり、それを捕獲するトンボ、ハチ、カマキリ、クモなどが棲息して、さらに捕食する野鳥、へび、カエルなどの生きものがつながっています。野鳥では、オオタカが観察されていますが営巣は確認されておらず、餌場としての利用にとどまっているようです。しかし、これらのつながりの全体像は解明されておらず、推測の域を脱し切れていません。

これまでの結果から、トンボはこれまでの観察から多くの種類と希少種が見つかっており、この多様な環境を残すことが大切となっています。また、人が入りにくい林地があることも自然環境の保全につながっており、シンジュ林と竹林の自然更新の管理が必要だと思います。

最後に、3年間の調査・観察は、昆虫のほんの一部を見たことにしかありません。これを機会により精密な調査を行って、安比奈親水公園の自然像を解明してほしいと思います。次なるチャレンジャーを求めます。

(自然環境部会 過昌司)

【コラム】川越の「宝」をたずねて (5) 次代を担う生徒が多い街・川越



川越中心市街地の高校7校を表す川越の「宝」マップ(国土地理院の電子地形図(タイル)に地点を追記して掲載)

コラム「川越の「宝」をたずねて」は、「かわごえカフェ 2019」のテーマ、「川越(と周辺地域)の宝を掘りおこそう」で、参加者のみなさんと作成した「川越のお宝マップ」の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は「次代を担う生徒が多い街・川越」

川越市は、市街地に約500メートル圏内に川越駅、川越市駅、本川越駅の3つの駅があり、中でも川越駅は、JR埼京線と川越線、東武東上線の3線が乗り入れています。本川越駅には西武新宿線が乗り入れ、多くの人々が往来する街であることから、この3駅から徒歩圏内にいくつもの高等学校があり、生徒でにぎわう街でもあります。

川越市駅や本川越駅を最寄り駅とする県立川越女子高等学校、私立山村学園高等学校、県立

川越工業高等学校や県立川越総合高等学校、県立川越高等学校。バスも利用すれば市立川越高等学校や星野高等学校なども駅から 2km 圏内にあります。

川越の歴史を見ると、大日本帝国憲法が公布された同年（1889年、明治22年）に川越町が発足し、その8年後となる1897年（明治30年）に川越星野塾（現星野高校）が開校しています。1899年（明治32年）に県立川越中学校（現川越高校）が開校、1906年（明治39年）に町立川越高等女学校（1911年、明治44年に県立に移管、現川越女子高校）が開校、1908年（明治41年）に県立川越染織学校（現川越工業高校）、

が開校しました。そして1920年（大正9年）に県立蚕業学校（現川越総合高校）が設立。これら5校は、川越市制が施行（1922年、大正11年）される前に開校しており、歴史が古くほとんどが100年を超えています。

国家百年の計と言われますが、川越の街の発展は、このように古くからの人材育成・次世代教育に力を入れてきたからではないでしょうか。そして、それが今なおこの川越で脈々と受け継がれています。

川越の街には、いくつもの高等学校が在り、そこに通う次代を担う生徒らは、川越の宝です。
(飯島希)



埼玉県立川越総合高等学校



埼玉県立川越高等学校



埼玉県立川越工業高等学校

社会環境部会からの提言（11）国連気候行動サミットとグレタ・トゥーンベリさんの活動



グレタ・トゥーンベリ、国連本部前の気候行動抗議運動に参加（2019.8.30）¹⁾

みなさんはスウェーデンのグレタ・トゥーンベリさんという名前を知っているでしょうか？

当時15歳の彼女は、将来の地球変動の及ぼす危機を訴えるため、2018年8月から毎週金曜日にストックホルムの国会議事堂前に座り込み、学校ストライキを執行しました。この情報・映像は世界に発信され、トゥーンベリさんの勇気ある行動を機に、自分たちの未来は自分たちで



国連気候行動サミット2019のオープニング（2019.9.23）²⁾

つかむとの潮流は世界中の若者に広がり、“#FridaysForFuture”と称した若者のデモが世界各国で広がっています。米ニューヨークで開かれた「国連気候行動サミット2019」を前にした9月20日（金）には、若者を中心に地球温暖化対策を求める様々な抗議行動が欧米、アフリカ、アジア（含日本）など世界150か国で行われ、数百万人が参加したと云われています。

グレタ・トゥーンベリ (Greta Thunberg) さんは、昨年11月にポーランドのカトウィツェで開かれた COP24 (気候変動枠組条約第24回締約国会議) でスピーチを行い、また、今年1月には、世界の政治・経済のリーダーが集まるスイスのダボス会議でも伝説的なスピーチを行っています。さらに、9月に行われた一連の気候行動サミットに出席する際、飛行機は大量の温室効果ガスを排出するとして、英国からニューヨークまでヨットで2週間かけて到着したそうです。9月23日にニューヨークで行われる気候行動サミットに先立ち、21日に行われた若者たちによる「ユース気候サミット」では、世界各国から600人を超える若者が参加 (日本からも参加) しました。若者たちは「気候変動は私たちの世代の深刻な問題だ。」「世界の指導者たちは今すぐ行動する義務がある」と強調しました。グテレス国連事務総長も熱心に訴えを聞き、「我々の世代が責任ある行動を取るよう動かすのは、あなたたち若者世代の力だ」と激励したそうです。トゥーンベリさんは、ユース気候サミットの演説の中で「若者の団結は誰も止められない」と述べていました。

国連で首脳級が集まる大規模な気候行動サミットは、2014年以来開かれたもので、グテレス国連事務総長が強く主導したものです。各国首脳は、国連総会を前にしてニューヨークに早めに到着し、気候行動サミットにも参加したものです。ドイツのメルケル首相、フランスのマクロン大統領、英国のジョンソン首相、中国の王毅外相、インドのモディ首相等が出席し、各国の温暖化対策について方針を述べました、日本からは安倍首相は出席せず、また、出席した小泉進次郎環境大臣には、演説の機会が与えられなかったそうです。トランプ大統領は参加する予定はなかったのですが、なぜか各国の動きが気になったのか急きょ出席したのですが、わずか15分で立ち去ったそうです。小泉環境大臣は、その後記者団との英語でのやりとりはありましたが、日本の温暖化防止の具体的な施策を聞か

れ、「まだ就任したばかりで」と答え、不評を買いました。気候行動サミットへの日・米の行動を見るだけでも、温暖化に対して国のトップがどのような姿勢で臨んでいるかがよくわかります。

トゥーンベリさんですが、気候行動サミットでも各国の首脳の前で演説し、涙ながらに訴えたのは極めて印象的でした。その一部を抜粋して日本語訳を掲載します。

「(前略) 生態系全体が崩壊しています。大絶滅が始まっているのに、あなたたちはお金や永遠に続く経済成長というおとぎ話ばかり。よく言えたものです! (中略)

IPCCは、気温上昇を1.5度に抑えられる可能性を67%と試算しています。4200億トンのCO₂しか排出できません。この数値が今、3500億トン以下になっています。解決できるふりをするなんてあきれたものです。今の排出量では、8年半も経たないうちに残る許容量を超えてしまいます。

今ここに、この数字に対する解決案や計画はありません。この数字は、あまりに不都合で、正直にそう伝えられるほど、あなたたちは成熟していないからです。

あなたたちは私たちに落胆させています。若者はあなたたちの裏切りに気づき始めています。すべての未来の世代の目があなたたちに向けられています。あなたたちが私たちを見捨てるのであれば、私たちは絶対に許しません。私たちはあなたたちを見逃しません。今まさに、この場所ではつきりさせましょう。世界は気づいています。あなたたちがどう思おうと変化は起きているのです。ありがとうございました。」³⁾

国連での演説はちょっと過激でしたが、各国の首脳はどう感じたのでしょうか。

トゥーンベリさんは、「私たちは絶滅の淵にある」と訴えているのです。このままの経済活動を続けていけば、今世紀末までに世界の平均気温は4度以上上がるでしょう。そうすれば、シベリア等の永久凍土は溶け、いままで閉じ込められていた多量のメタンガスが放出され、更な

る温度上昇が起きます。メタンの温室効果はCO₂の25倍もあるからです。そうすれば、温暖化を止める手段はありません。それが、「絶滅の淵」という言葉となったのでしょう。最近、Climate Change（気候変動）よりもClimate Crisis（気候危機）という言葉が使われるようになってきました。今年、日本での大型台風の直撃、欧州各地での40度を上回る熱波。ようやく地球はおかしいと感じる人が増え始めたのかもしれませんが。

今、この原稿を台風19号が通過中に書いています。こうした大型台風の発生、日本に近づいても勢力が落ちない。これもまさに海水温が上昇しているからです。海水温が1度上がると水蒸気発生量は8%増えます。その分、大雨の頻度は増えるでしょう。

今こそひとり一人が行動を起こす時なのです。我々「かわごえ環境ネット」としても、市行政、市民等に行動を起こすべく、はっきりと積極的に働きかけることが必須の時期になってきたのではないのでしょうか。

これで、原稿を終わりにしようと思いましたが、筆者としては、昨年11月にポーランドのカトウィツェで開かれたCOP24でのトゥーンベリさんスピーチが素晴らしかったので、以下に日本語訳を掲載します。

「スウェーデンから来た15歳のグレタ・トゥーンベリです。私は“クライメート・ジャスティス・ナウ”の代表をしています。

小国のスウェーデンで何をしようとも無意味だと皆言います。しかし、変化を起こすには大きさは関係ないと知りました。ほんの数人の子供が学校を休むだけで世界に注目されるのです。世界の人々が本気で協力すれば何ができるか想像してください。しかし、そのためにはどんなに言いつらいことでもはっきりと発言する必要があります。不人気を恐れ、環境に優しい永遠の経済成長のみを語る人や今の惨状を招いた間違った考え方を押し通すことだけを主張する人がいます。こうした考えにブレーキを掛け

るべき時が来ているのにです。真実を語れない未熟な皆さんがその負担を子どもに課しているのです。

しかし、私は自分の人気よりも気候正義と地球の生命を大切にしたいのです。ごく少数の人たちが巨額のお金をもうける機会のために私たちの文明が犠牲になっています。私の国のような国々にいるお金持ちが、ぜいたくに暮らすために私たちの生物圏が犠牲になっています。少数の人の豊かさは大勢の苦しみで、あがなわれています。

2078年、私は75歳の誕生日を迎えます。もし子どもがいれば、その日、彼らは皆さんのことを私に尋ねるでしょう。手を尽くす時間が残っているうちになぜ何もしなかったのかと。子どもを何よりも愛していると言いつつ皆さんは子どもの未来を奪っています。政治的にどうかではなく、やらなければならないことに注力しなければ希望はありません。危機意識がなければ危機は解決できません。化石燃料を地中にとどめ、公平性に焦点を当てる必要があります。現在の仕組みの中で解決法が見つからないのなら、仕組み自体を変えるべきかもしれません。

私たちは世界のリーダーの皆さんにお願いに来たわけではありません。皆さんはこれまでと同様に私たちをないがしろにするでしょう。もはや言い訳の余地はなく時間の余裕もありません。変化は、いや応なく訪れることを私たちは伝えに来ました。普通の人々こそが真の力を発揮できるのです。ありがとうございました。」⁴⁾

参考資料

- 1) UN Photo/Manuel Elias “Greta Thunberg Joins Climate Action Protest Outside UNHQ”, <https://www.unmultimedia.org/s/photo/detail/818/0818810.html>, 2019.10.31 閲覧
- 2) UN Photo/Cia Pak “Opening of UN Climate Action Summit 2019”, <https://www.unmultimedia.org/s/photo/detail/822/0822292.html>, 2019.10.31 閲覧
- 3) 国連広報センター「国連気候行動サミットにおけるグレタ・トゥーンベリさんのスピーチ（日本語字幕版）」から抜粋、https://youtu.be/vtPnsH_ZdSA, 2019.10.31 閲覧
- 4) 国連広報センター「グレタ・トゥーンベリさんによる#COP24でのスピーチ」から転載、https://youtu.be/8H0L16I_3KY, 2019.10.31 閲覧

(宮崎誠)

【報告】かわごえ環境ネットの活動

川越まつり会場クリーン活動（10月19・20日）



所沢市立向陽中学校 OB

10月19日（土）・20日（日）に第4回「川越まつり会場クリーン活動」をかわごえ環境ネットの事業として実施しました。

会場クリーン活動の目的は、多くの観光客に気持ち良くお祭りを楽しんでいただくために行うものです。

参加者は、川越市観光課提供の赤い法被（ハッピー）を着て、お祭り会場のごみ拾いや辻立ちを行い、ごみのない気持ちのよい会場づくりに邁進しました。参加者からは「活動に参加してよかった」とか「来年も参加したい」との感想



明電ファシリティサービス株式会社の参加者



夕方の辻立ち

が寄せられました。

参加者数は19日が43名、20日は37名、両日合計で80名です。参加者の特徴は、二度目、三度目の参加と幅広い年齢層の参加と、Facebook等のSNSで発信されたかわごえ環境ネットのクリーン活動を知り、参加した方が多く見られました。

主な参加団体は、第一生命川越支社、クリーン&ハートフル川越、初雁興業株式会社などでした。昨年参加の所沢市向陽中学校生徒が今年度はOBとして参加、感謝感激!!でした。

お祭りの人出は、山車は18台が参加、観光客は88万1千人。ちなみに2016年は98万5千人、2017年は日曜日に雨が降り73万人、2018年は96万6千人、天候や台風に左右される人出です。

来年もお祭り会場がクリーンになるようにご支援よろしく願いいたします。

（実行委員会 菊地三生）



第一生命株式会社川越支社の6名



受付担当者

【後援・出展】2019 アースデイ川越 in 昭和の街（10月6日）



朝のスタッフミーティング



少年少女国連大使の講演



盛況だった生活クラブの体験ブース



マイタンブラー持参で10円引きのお店も



高校生も出場した音楽ライブ



SDGs アイコンを掲げたブース

かわごえ環境ネットでは、「2019 アースデイ川越 in 昭和の街」を後援するとともに、体験ブースとして「環境に配慮した行動×SDGs チェックシート」を出展しました。本紙では、実行委員会の総括を掲載します。（小瀬博之）

今年で21回目を迎えるアースデイ川越は、10月6日（日）10:00から16:00まで、川越昭和の街の蓮馨寺境内で開催された。

「ミライをつくる日」をサブタイトルとした今回は、2015年国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の啓発をテーマに、9団体17のブースが出展。

また、ステージでは8組6時間に及ぶ講演やパフォーマンス、音楽ライブが繰り広げられた。

来場者の大半を占めた小学生やその保護者は、各ブースのワークショップやゲーム、クイズ、ステージパフォーマンスなどを通して、楽しくSDGsを学んでいた。

外国人も含めた来場者の中には「SDGsを初めて知った」という方も多く、これからの普段

の生活や社会活動の中でSDGsを意識したいという感想もいただいた。

特に今回のアースデイ川越の大きな収穫として、芝浦工業大学、尚美学園大学の学生たちと共にイベントをつくり上げることができたことを挙げたい。

なぜなら、彼らが今回の経験を活かし、今後もSDGs達成に向けた活動を主体的に続けることこそが、持続可能な世界をつくる原動力となるはずだからである。

参加者はスタッフも含め、全体で約1100名。アースデイ川越は決して大規模なイベントではない。

だが、小さな「気づき」を積み重ねていくことで「ミライをつくる」すべての人々の手助けになっていきたい。

そんな思いを持って、今後も継続していくことができればと、実行委員会を考えている。

（第21回アースデイ・イン・川越実行委員会）

◆かわごえ環境ネット会員募集 会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」などの情報を毎月郵送とメールでお送りします。また、委員会活動、研修行事に参加できます。仲間も作れます。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です。詳細は、かわごえ環境ネット事務局かWebサイト (<https://kawagoekankyo.net>) へ。



【報告】 会員の活動

秋雨の季節での晴れ間の活動

小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊）



参加者とスタッフの集合写真



9月の台風で折れたコナラの枝の処理



ヤマザクラの枯損木（直径70cm）の伐倒



根を掘って種を同定



明るい林にもさまざまな種が点在



ヤクシソウの群落を最後に発見

里山林保全活動（10月5日）

10月5日（土）8:30-16:00に東洋大学川越キャンパス「こもれびの森」で行われた里山林保全活動は、10月としては異例の暑さの中、12人での実施となりました。

9月に上陸した台風15号の影響で、こもれびの道沿いに大きな落枝があり、これを処理しました。また、同時並行で、枯損木としてしばらく残っていたヤマザクラをチェーンソーで伐倒しました。チェーンソーの使用により、これらの作業は効率よく進みました。その他、コナラの枯損木3本の伐倒を行いました。

伐倒後の周辺の林内はとても明るくなり、今後、さまざまな植物の発芽、成長が期待できます。

植生調査（10月9日）

こもれびの森・里山支援隊では、林内の通学路である「こもれびの道」沿いの植生調査（維管束植物：種子植物とシダ植物）を定期的に実施しています。

かわごえ環境ネットでも講師を務めている稗島英憲さん、高杉茂さんに指導を仰ぎながら、スタッフの藤野、小瀬、勝又も含めて5名で、9:00から16:40まで長時間の実施となりました。

スタートしてから100mほどで午前の調査を費やして157種の植物を発見し、最終的に、道沿いの往復約700mの間に発見した植物は225種となりました。これまでの2年間に発見した植物種は324種（暫定値）となっていて、改めて生物多様性豊かな森の存在を証明する結果となっています。（小瀬博之）

多年草化した稲の見学会『稲を愛でる田んぼの庭』 NPO法人かわごえ里山イニシアチブ

有機栽培や自然農法など環境に配慮した米づくりは一苦勞である。これは多くの方が抱いている有機栽培に対するイメージでしょう。足しげく田んぼに通い、せっせと雑草をとる。有機栽培とは雑草との戦いであると思う人もいるか

もしれません。あるいは、草取りの作業が辛く、有機栽培を挫折してしまった人もいるかもしれません。こういった状況の中、有機栽培など環境にやさしい田んぼとこれからどのように向き合っていけるのかと考えることがあります。

10月上旬、田んぼと人との関係を新たな切り口で捉えることができるような活動が、神奈川県相模原市を拠点とする「合資会社 大家族」の田んぼでみられるということで、かわごえ里山イニシアチブのメンバーとともに見学会に参加してきました。

大家族では、約3.5haの用地で水稻や野菜の栽培をしているのですが、そのうち、1.6反(約1,600m²)で「不耕起・冬期湛水(とうきたんすい)」を実践しています。通常の田んぼでは、稲は収穫後に冬の寒さで枯れるため、毎年春に種まきをし、苗を作り、田植えをし、お米ができます。一方、大家族の不耕起・冬期湛水の田んぼでは、数年前から稲刈りをした後の稲株が冬の間も枯れずに生き残り、その稲株から春になると芽が再生して分けつをはじめ、出穂し、秋には稔るという現象が起きています。この現象について、大家族の代表である小川さんは『稲の多年草化』と称しています。

約100m²の田んぼでは、今年全面的に多年草化が起きており、田植えが不要な状態になっていました。また、冬の間水が張っていますので雑草があまり生えず、除草作業が大幅に減り、さらには、不耕起ですので、環境負荷も低減するといったメリットがあるとのことでした。そ

して、小川さんの田んぼでは、ホタルや絶滅危惧種のホトケドジョウも大量に発生しているようで、生物多様性の向上にも貢献しています。多年草化した稲の田んぼは、大規模生産には不向きですが、自給用田んぼや専業農家ではない市民が気軽に世話をする田んぼとして活用できるポテンシャルがあるのではと感じました。

小川さんは、多年草化した稲の田んぼについて「稲を愛でる田んぼの庭」と表していました。収穫は、自分の気が向いたときに田んぼに行って少量ずつ収穫をしていく。小川さんにとっては米づくりがライフの一部となり、日々変化する田んぼの様子を眺め、じっくりと稲の生育を楽しんでいます。通常の田んぼでは、一斉に色づき、黄色のじゅうたんが敷き詰められる。これが通常の田園風景ですが、多年草化した田んぼでは、稲が一斉に稔ることはありません。夏から秋にかけて、黄色に変化する茎、まだ緑色が残る茎、そこには植物の変化を愉しむという味わい深さがあり、稲の生命力を感じずにはいられません。それがまるで庭のような感覚なのでしょう。多年草化した稲を見ていると、田んぼに対する心構えが変化してきました。

(増田知久)



多年草化した稲の見学



合資会社 大家族の代表小川さんによるレクチャー



多年草化した稲

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

10月23日(水)9:00-10:00に第7回事業運営委員会を、10:00-12:00に第7回理事会を福田ビル3階会議室において開催しました。一括して主要な議事内容を報告します。

(1) 第18回かわごえ環境フォーラム(2/29)

午後の部の講演会の講師を依頼し内諾を得ました。また、ワークショップの内容について検討、協賛の申込状況について確認しました。

(2) 第1回SDGsエコフォーラム(12/14)

当日の受付等のスタッフを本会から派遣することについて、パンフレットの月刊紙への同封について確認しました。

(3) 歳末まち美化活動(12/22)

募集案内が広報川越11月25日号に掲載予定であることを確認しました。参加者に「参加証」を配付することを検討することにしました。

(4) 設立20周年記念事業

「川越の自然」(新訂版)の概要と執筆分担、資金調達の検討について報告がありました。

(5) 新年会(1/15)

1月の理事会終了後、昼食会を開催することにし、本紙12月号で広報することにしました。

(6) その他

10月19・20日の川越まつり会場クリーン活動について報告がありました。詳しくは報告記事をご覧ください。

会費未納者に通知文を送付することにしました。よろしくお願ひいたします。

入会案内パンフレットの作成について、会員の増田知久さんから作成提案があり、小瀬と共同で作成することを承認しました。

10月6日(日)に開催された「2019アースデイ川越 in 昭和の街」について、本会より7名が体験ブースのスタッフで参加したこと、また、「環境に配慮した行動×SDGsチェックシート」に23名の回答があったことが報告されました。

チェックシートの取組は先進的であり、フォーラムでの発表などで普及を図る必要があるのではないかという意見がありました。

(7) 専門委員会からの報告

社会環境部会より、11月9日(土)の環境講演会についての参加申込状況について報告がありました。また、11月17日(日)開催予定のつばさ館まつりについて環境政策課地球温暖化対策担当と共同で出展予定であるとの報告がありました。

自然環境部会より、高階北小学校への学習支援、江遠島緑地にて開催される古谷湿地さかな観察会への支援について報告がありました。

(8) 会員動向

民間団体1会員が退会し、10月23日現在の会員数は、個人140、民間団体26、事業者24、行政1の合計191会員となりました。

(小瀬博之)

自然環境部会

10月例会は11日(金)福田ビル3階にて8名の参加で開催されました。

1. 活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動
9月23日(月)14名参加 「野鳥の森」の手入れ開始、落枝の集積など、ギンミズヒキ(白花)、オケラ、マヤランなど、この林では希少な植物確認

②池辺公園定例活動 10月1日(火)9名参加
イボタノキは多数あり、鬱蒼としているので剪定する。また、枯損木も処理するなど手入れ作業

③「小畔川魚とり遊び」9月22日(日) 「小畔川の自然を考える会」と共催 月刊かわごえ

環境ネット10月号既報

④生き物観察会 9月28日(土) 市と共催
川越水上公園

⑤チョウの調査 10月2日(水)「(仮称)川越市森林公園」計画地 3名参加 アサマイチモンジ、ウラナミシジミなど19種観察

2. 協議事項

①川越の自然を新たに見直す取り組みとして大堀山館跡、湧水ポイントなどのフィールドワークをもつことの話し合い

②川越生き物調査のまとめソフトの活用について

③会計担当から上半期の報告と今後の使用について (自然環境部会代表 賀登環)

【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催・後援・出展行事

【トピック①】環境講演会「埼玉 進む温暖化 現状と対策」開催（11月9日）

環境講演会

「埼玉 進む温暖化 現状と対策」

2019年 11/9(土) 9:30~12:00 参加費無料

2050年のエネルギーの未来を予測する
会場 南公民館（ウエスタ川越1階）講座室1・2号

埼玉県川越市では、昨年7月に41.1℃の日本最高気温を観測する等、近年温暖化の進行が実感される事例が頻発しています。一方、政府は温室効果ガスを2030年には26%、2050年には80%削減を目標にしており、脱炭素社会を目指す新たなエネルギーの未来像が求められています。この目標はSDGs7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、13「気候変動に具体的な対策を」の要求とも合致します。本講演会では埼玉県を中心に、温暖化の現状と課題・対策をわかりやすく解説するとともに、受講者と一緒に2050年におけるエネルギー社会をシミュレーションする試みも行う予定です。

講演内容

第1部 講演「埼玉 進む温暖化 現状と対策」
▶温暖化の現状（日本、埼玉）
▶温暖化対策（緩和策、適応策）

第2部 2050年のエネルギー社会シミュレーション
▶「2050 低炭素ナビ」簡易エネルギー需給モデルを用いて、2050年におけるエネルギーの未来像を予測する。

講師

埼玉県環境科学国際センター 研究企画室長 嶋田知英氏

申し込み 10月1日（木）11時より 先着60名
主催 かわごえ環境ネット
参加申込先 川越市環境部環境政策課
電話 049-224-5866 メール kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

日時：11月9日（土）9:30-12:00

場所：南公民館（ウエスタ川越1階）講座室1・2号（川越市新宿町1-17-17）

講演内容：

第1部 講演「埼玉 進む温暖化 現状と対策」

- ・温暖化の現状（日本、埼玉）
- ・温暖化対策（緩和策、適応策）

第2部 2050年のエネルギー社会シミュレーション

「2050 低炭素ナビ」簡易エネルギー需給モデル

ルを用いて、2050年におけるエネルギーの未来像を予測します。

講師：嶋田知英氏（埼玉県環境科学国際センター研究企画室長）

申込先：川越市環境部環境政策課（Tel.049-224-5866, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）

参加費：無料

地球環境が大きく変わり、今年の大規模台風は2度にわたり関東地方を直撃し、甚大な被害を及ぼしました。特に台風19号では、川越近辺でも越辺川の決壊をはじめ、氾濫水位を超えた、あるいはギリギリの状態が随所に見られました。こうした大規模台風の発生頻度はますます増えると予想されています。

これは海水温の上昇に起因しているからです。また今夏は、欧州各地で40℃を上回る熱波が来襲し、地球はどうもおかしいと感じる人が増え始めています。我々は、温暖化の現状を正しく理解し、適切な行動・対策を行わなくてはなりません。

本講演は埼玉県環境科学国際センター 研究企画室長 嶋田知英講師が、埼玉県を中心に、温暖化の現状と課題・対策をわかりやすく解説するとともに、受講者と一緒に2050年におけるエネルギー社会をシミュレーションする試みを行います。温暖化の抑止を一緒に考えましょう。

【トピック②】「第18回かわごえ環境フォーラム」環境活動報告投稿・発表者募集

投稿・発表申込 11月18日（月）締切迫る

レポート投稿 12月16日（月）締切

2020年2月29日（土曜日）9:30-16:30にウエスタ川越（市民活動・生涯学習施設 会議室1・2）を会場として、環境活動報告会と講演会並びにワークショップを開催します。

行事開催に先立ち、環境活動をされている個人・団体からの報告を広く募集しています。か

わごえ環境ネット会員の有無を問いません。積極的な応募をお待ちしています。募集要項は、かわごえ環境フォーラム Web サイト（<https://forum.kawagoekankyo.net>）をご覧ください。



かわごえ環境フォーラム (<https://forum.kawagoekankyo.net>)

【トピック③・後援】「第1回 SDGs エコフォーラム in 埼玉」

つながろう 広がろう 世代を超えて エコの環 開催 (12月14日)



日時：12月14日（土）10:00-16:30
 会場：東洋大学川越キャンパス（川越市鯨井2100、公共交通機関をご利用ください）
 参加費：無料
 定員：500名
 主催：第1回 SDGs エコフォーラム in 埼玉実行委員会
 共催：東洋大学、埼玉県地球温暖化推進センター、パリクラブ21埼玉
 後援：埼玉県、川越市、かわごえ環境ネット
開催趣旨

これまで18年間にわたり開催してきた「環境まちづくりフォーラム・埼玉」「低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉」の実績を継承し、持続可能な社会の構築を見据えた新たな取組として名を改め開催します。

県内においた環境を中心とする活動を実践している団体、企業、行政、教育機関、地球温暖化防止推進員等が一同に会し、情報交換、相互

交流及び情報発信を通じて、SDGs の達成に寄与することを目的とします。

プログラム（予定）

- 10:00-10:10 挨拶
- 10:10-11:10 基調講演「仏教から見た環境問題」
竹村牧男氏（東洋大学学長）
- 11:10-11:20 2019年度少年少女国連大使による SDGs スピーチ 島村仙氏
- 11:20-11:40 エコライフ DAY 感謝状贈呈
- 11:40-11:55 フォーラムの振り返りとこれから
- 11:50-13:10 昼食・パネル展示
- 12:30-13:00 こもれびの森フィールドツアー
- 13:10-15:50 分科会（6つの分科会を同時開催）

若者と市民の環境会議 SDGs から素晴らしい未来を語ろう！
あなたの暮らしで未来を変えよう 家庭の省エネから温暖化を考える
森・田んぼ・川の生きもの保全 人と自然の共生を学んで、生物多様性を目指そう
私ごとから考えるごみ問題 私たちが今やるべきことを考えよう
SDGs を知ろう！入門編 自分たちで開ける取組を考えてみよう
環境経営の今・これから 環境経営の深化、SDGs 経営の拡大に向けて

16:10-16:30 全体会
 17:00-18:30 交流会（会費 2,500 円程度）
申し込み：会員は今号に同封、または添付ファイルで送付しているパンフレットにある申込用紙を用いて申し込みください。会員外の方は、下記 Web ページからも入手可能です。
 問い合わせ：第1回 SDGs エコフォーラム in 埼玉実行委員会事務局（Tel.048-749-1217, Fax.048-749-1218, E-mail: goto@kannet-sai.org）



【詳細・最新情報】第1回 SDGs エコフォーラム
<https://www.kannet-sai.org/about/activities/2019/1214.html>

【トピック④】川越「歳末まち美化活動」(12月22日)参加者募集

2019年10月23日

川越「歳末まち美化活動」 参加者募集

かわごえ環境ネットの年間行事の一環として続けられている川越「歳末まち美化活動」を12月22日(日)に行います。本川越駅前交番横に集合し、市内中心部を各コースに分かれてごみ拾いをして回り、中央公民館前で分別し、蓮馨寺に移動し解散します。多くの方のご参加をお待ちしております。

日 時	12月22日(日)
予 定	9:30 本川越駅前交番前に集合 各コースでゴミ拾いをして回る 11:30 中央公民館で分別作業、蓮馨寺で有志差入れの 太めんやきそばを! 南行組はウエスタ川越で分別作業と美味しいしんを!
参加申込	12月20日までに 渡辺 FAX 049-242-4322 又は 菊地 080-5546-2362 mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

活動範囲
概ね点線枠内の主要道路を回ります



蔵造りの街並み



2018年の活動の写真



本川越駅前



かわごえ環境ネット
事務局 川越市環境部環境政策課
049-224-5866(直通)

2003年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動。17年目の今年は、12月22日(日)9:30-12:00に実施します。令和最初の活動です。

9:30に本川越駅前交番前に集合し、市内中心部から南北に10ぐらいのコースに分れてごみ拾いをして回り、11:30に北行組は中央公民館前でごみ分別、その後蓮馨寺にて有志差入れの川越名物「太麺焼きそば」を食べながら歓談します。南行組はウエスタ川越でごみ分別し、施設内のカフェ&ベーカリー「どんなときも」でおいしいパンを食べて解散します。

申し込みは12月20日までをお願いいたします。

- ・申込先： 渡辺利衛 Fax.049-242-4322
菊地三生 Tel.080-5546-2362

E-mail : kikums@beige.ocn.ne.jp

本会会員の有無を問わず、多くの方のご参加をお待ちしております。(菊地三生)

自然環境部会主催事業

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日)

日時：11月11・25日、12月9日、1月13日(月)9:30-12:30

集合：川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

問い合わせ：賀登(Tel.049-234-9366)

★池辺公園定例活動(毎月第1火曜日)

日時：11月5日・12月3日(火)9:00-12:00

場所：池辺公園(川越市池辺1302)

問い合わせ：賀登(Tel.049-234-9366)

★大堀山館跡観察会

日時：11月21日(木)10:00-12:00

会場：大堀山館跡(川越市下広谷332-1他)

参加希望者は、賀登(Tel.049-234-9366)までご連絡ください。

会合

◆広報委員会(2019年11月度)

日時：11月6日(水)9:00-10:00

場所：川越市役所本庁舎5階フリースペース

*次回は12月4日(水)9:00-10:00同所

●社会環境部会(2019年11月度)

日時：11月8日(金)13:00-15:00

場所：福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)

*次回は12月13日(金)13:00-15:00同所

*会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会(2019年11月度)

日時：11月8日(金)15:00-17:00

場所：福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)

*次回は12月13日(金)15:00-17:00同所

*会員はどなたでも参加できます。

◆設立 20 周年記念事業実行委員会出版専門委員会 (第 5 回)

日時：11月26日(火) 9:30-11:30

場所：栗原造園(川越市南大塚 4-5-3)

◆事業運営委員会 (2019 年度第 8 回)

日時：11月27日(水) 9:00-10:00

場所：福田ビル 3 階会議室

*次回は12月18日(水) 9:00-10:00 同所

◆理事会 (2019 年度第 8 回)

日時：11月27日(水) 10:00-12:00

場所：福田ビル 3 階会議室

*次回は12月18日(水) 10:00-12:00 同所

【予告】 会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子 (Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com)

ホームページ <http://blog.canpan.info/forest-musashi/>

◎森林公園かんさつ会 (考える会主催)

日時：11月17日(日) 10:20-15:00 ごろ

場所：武蔵丘陵森林公園南口入口前休憩所(比企郡滑川町山田 1920)

参加費：200 円(入園料、駐車場代別)

持ち物：昼食持参(レストランもあります)、雨天決行(雨具持参)

内容：森林公園で木々の紅葉を楽しみながら、木の実や野鳥を探します。

集合：国営武蔵丘陵森林公園南口前休憩所(入園前受付)

参加費：200 円(入園料別途)

持ち物：お弁当持参(レストランもあります)、雨天決行(雨具持参)、観察用具(ルーペなど)

◎水生動物観察会(ヤゴの避難作業)(公園主催・考える会協力)

日時：12月1日(日) 10:00-14:30(午後は自由参加)

今年も雅の池でヤゴの避難作業を行います。詳細は、公園管理センター(Tel.0493-57-2111)または当会まで。



NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会
<http://blog.canpan.info/forest-musashi>



武蔵丘陵森林公園(交通アクセス)
<https://www.shinrinkoen.jp/access.html>

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：11月9日・12月14日(土) 9:30-12:30 ごろ

場所：明見院(今福 677) 近く

内容：農作業(B級品のお土産付き)

会費：クラブ員 1 家族 1,000 円(年間)

2019 年度予定表

月	日	活動内容予定
11	9	里芋畑の片付け、芋煮会(茶碗・箸持参)
12	14	大根畑の片付け等
1	11	雑木林の手入れ
2	8	雑木林の手入れ 焼き芋等
3	14	雑木林の手入れ、あそぼうパン

◎かわごえエコツアー(川越市協働委託事業)

日時：11月18日(月) 8:45-16:00(帰着予定)

集合：ウェスタ川越

霞ヶ関カンツリークラブ、霞ヶ関浄水場、川越卸売市場、市民の森 8 号地、池辺公園の 5 か所を巡ります。霞ヶ関カンツリークラブの湧水地では、「ホトケドジョウ等の観察」、浄水場では、川越の「水」について学びます。観察会はかわごえ環境ネットのガイド付きですので、初めて聞くことが多い一日になると思います。参加費は無料です。広報川越 1449 号(10月25日)

で募集しています。興味のある方は、川越市環境政策課 (Tel.049-224-5866) に申し込んでくだ

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して河川を汚さない環境にやさしいお米作り、田園風景の保全や地域づくりの活動を行っています。入会は随時受け付けています。上記問い合わせ先にご連絡ください。

◎しめ縄飾り作り・ミニ収穫祭・田んぼ懇談会

日時：11月23日(土) 10:00-17:00

場所：JUNホール(川越市府川819、Tel.049-222-7064)

申込先：hatsukarinosato@googlegroups.com

1. 下記催し①～③のどれをご希望か
2. 同伴者含めたお名前(小学生以下のお子様ご参加の際は年齢も)
3. お車でお越しの方は台数とその旨

①10:00-12:00 しめ縄飾り作り(どなたでも参加可)

参加費：2,000円(未就学児無料)

持ち物：しめ縄を入れる袋、ハサミ、エプロンなど、マコモ葉を濡らして行うためエプロンかまたは汚れが気にならない服装

②12:30-14:30 ミニ収穫祭(会員限定)

参加費：1,000円(中学生以上)、未就学児無料、

小学生500円

持ち物：羽釜ご飯とピザ、焼き芋のご用意はあり参加費に含まれます。その他、差し入れなど歓迎。お茶のご用意はありますがお酒など召し上がりたい方はご自由にご持参ください。

③15:00-17:00 田んぼ懇談会

参加無料

田んぼ懇談会は、原則として奇数月に開催します。活動に興味のある方はどなたでも参加できます。かわごえ里山の活動状況や田んぼ談義を行います。

◎【出店】くらしをいろどる Farmer's Market

日時：12月8日(日) 10:00～15:00

場所：ウェスタ川越交流広場&ユニクス川越にぎわい広場

南古谷農園とコラボ出店します。



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

東洋大学小瀬研究室(川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊)

問い合わせ：小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

こもれびの森・里山支援隊 <http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

◎「第10回こもれび祭」里山体験と木工教室

日時：11月3日(日)・4日(月・祝) 10:00-16:00

場所：東洋大学川越キャンパス7号館1階「物創り工房」

内容：森をめぐるツアー、木工教室(こもれびの森の資源を使った名札づくりなど)、体験展示(丸太切り体験やかんながけ体験)、木工教室や体験展示のおみやげなどがあり、子どもから大

人まで楽しんでいただけます。予約不要、入退場自由ですが、数に限りがありますので早めにお越しください。

◎里山林保全活動(初回参加可)

日時：12月7日(土) 8:30集合-16:00作業終了
対象：本学専任教職員・学生、市民等(高校生以上)

場所：東洋大学川越キャンパス4号館前

実施場所：東洋大学構内「こもれびの森」(川越

市鯨井 2100)

作業内容：枯損木の伐倒、下刈り、つる切り、希少植物の保護、ごみ拾い、など

定員：15名

費用：無料

持ち物：森林内の作業に適した身支度（詳しくは Web で）

申込：準備の都合上、開催日前週の週末までに mlkomorebistf@toyo.jp へ、参加を希望する行事名とともに①名前②住所③電話番号④性別⑤生年月日⑥（学生のみ）学部・学科・学年をおしらせください。

* Web サイト（組織概要・開催案内・開催報告）

<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

* Facebook ページ（最新の活動報告）

<https://www.facebook.com/komorebisatoyama>

* Twitter（中止連絡などの緊急告知）

<https://twitter.com/toyokomorebi>



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

2019 年度予定表

月	日	活動内容予定
11	3・4	10:00-16:00, 第 10 回こもれび祭出展「里山体験と木工教室」
12	7	8:30-16:00, 里山林保全活動
1	11	8:30-16:00, 里山林保全活動
2	2	8:30-16:00, 里山林保全活動
3	7	8:30-16:00, 里山林保全活動

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛 (Tel&Fax.049-242-4322)・武田侃蔵 (Tel.090-2521-5770)

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 金曜日（9 月 20 日は中止）

日時：11 月 5 日（火）・15 日（金）、12 月 3 日（火）・20 日（金）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：11 月 10 日・12 月 8 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第 4 土曜日

日時：11 月 23 日・12 月 28 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9:00 より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田(090-2521-5770)へ。

①11 月 24 日（日）9:00-11:00。杉下橋右岸横集合。河道の状況を観察しながら次の対策検討。側道の清掃しながらオアシス裏にごみを集め分別して解散。

②12 月 15 日（日）9:00-11:00。新河岸川下流、旭橋集合。詳しくは本紙 12 月号に掲載。

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環 (Tel. 049-234-9366)

当会では、小畔川の八幡橋下流域の定点調査を中心に、魚類や水生昆虫などの調査を続けています。いつも何かしら発見がありおもしろいです。ウェダーや網などは当会で用意いたしま

す。

2019 年度活動予定

月	日	曜日	活動内容予定
11	17	日	10:00-12:00 小畔川鎌取橋上流魚類調査
12	8	日	10:00-12:00 川歩き

松岡壽賀子（社会環境部会）

問い合わせ：高階南公民館（Tel.049-245-3581）

◎かんきょうサロン

日時：11月11日（月）13:30-15:30

会場：高階南公民館1階会議室1号または実習室（川越市藤原町23-7）

参加費：無料

持ち物：使わなくなった上記の服、裁縫道具

今回のテーマも「健康と環境とお財布にやさしい生活術の話と洋服のリフォーム」です。わなくなったYシャツやセーターをブラウスやカーディガンなどに作り変えて再利用しています。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野（Tel.049-222-1731）、当日の携帯電話連絡（Tel.090-7003-8617）

◎伊佐沼でバードウォッチング

（毎月第2日曜日、小雨決行）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般300円、高校生以下100円（保険代・資料代）

①11月10日（日）10:00-12:00

今年もカモが渡ってきました。エプリクスの

羽でオス・メス見分けがしにくいです。覚えるのによい機会です。いっしょにがんばりましょう。

②12月8日（日）10:00-12:00

今年は何種類のカモが観察できるでしょうか。公園で冬鳥たちが待っています。

広報委員会からのお知らせ

◎原村政樹監督『お百姓さんになりたい』上映

日時：11月2日（土）から8日（金）まで13:15-15:04（火曜定休）

場所：川越スカラ座（川越市元町1-1-1）

本会会員である原村政樹監督の新作映画が川越で公開中です。ぜひご覧ください。

【解説（映画公式サイトより転載）】2.8ヘクタールの畑で60種類もの野菜を育てている、埼玉県三芳町の明石農園。明石誠一さんは28歳の時に東京から移り住み、新規就農した。有機農法からスタートし、10年前からは農薬や除草剤、さらに肥料さえも使わない「自然栽培」に取り組んでいる。ここでは、野菜同士が互いを育てる肥やしになり、雑草は3年を経て有機物に富んだ堆肥になる。収穫後は、種を自家採種してのちをつなぐ。春夏秋冬、地道な農の営みは、お百姓さんになりたい人への実践的ガイドとなり、“自分の口に入るもの”に関心を持つ人に、心豊かに暮らすためのヒントを提示する。



「お百姓さんになりたい」フライヤー（映画公式サイトより転載）



『お百姓さんになりたい』公式サイト
<https://kiroku-bito.com/ohyakusho-san/>



川越スカラ座 (<http://k-scalaza.com>)

★【後援】第19回北公民館かんきょう祭り2019

日時：11月16日（土）9:00-15:00

場所：川越市北公民館（川越市氷川町107）

行事内容：テーマ「変えよう！私たちの生活（くらし）」～考えよう！プラスチックの行方～

参加費：無料

◎イーブンライフ in 川越講演会「テレジン収容所 命のメッセージ」

日時：11月16日（土）13:50-15:50

場所：ウェスタ川越2階 市民活動・生涯学習施設 活動室1・2

講師：野村路子氏（作家、テレジンを語りつぐ会代表）

定員：150名、入場無料（整理券配布）

託児：11月6日（水）までに申込

申込・問い合わせ：川越市男女共同参画課（土日祝を除く 8:30-17:15, Tel.049-224-5723, Fax.049-224-6705）

★【協力】つばさ館まつり2019

日時：11月17日（日）9:30-15:00

場所：環境プラザ「つばさ館」（川越市鯨井782-3）



つばさ館だより（令和元年10月発行）に詳細あり

◎藻谷浩介氏講演会「里山資本主義の視点から坂戸をみる」

日時：11月30日（土）13:30-15:40

場所：坂戸市入西地域交流センター（坂戸市新堀159-1）

参加費：無料

主催・申込：NPO 法人一二三富の会（Fax.049-284-7051, E-mail: hifumitominokai@gmail.com）

●かわごえ環境ネットWebサイト

本紙のカラーで高精細なPDF版を閲覧できます。バックナンバーも揃えています。



<https://kawagoekankyo.net>

●かわごえ環境ネットソーシャルメディア

①Twitter



<https://twitter.com/kawagoekankyo>

②Facebook ページ



<https://www.facebook.com/kawagoekankyonet>

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2019年12月号（No.158, 11月30日発行予定）の掲載原稿は、11月15日（金）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局にお問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎5階）に提出してください。

●おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

●お見舞い 川越市では、台風19号による大雨により越辺川の堤防が決壊して、名細地区の下小坂、平塚新田の一部が浸水の被害を受けました。また、市内の低地でも浸水被害がありました。坂戸市、東松山市にかけても堤防の決壊等で浸水被害がありました。被災された方に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

イベントカレンダー (11月3日~12月25日)

日	月	火	水	木	金	土
11/3 文化の日 ★10:00 こもれび祭「里山体験と木工教室」	11/4 振替休日 ★10:00 こもれび祭「里山体験と木工教室」	11/5 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	11/6 ◆9:00 広報委員会	11/7 ◎13:15 お百姓さんになりたい上映 (11/2-8, 火曜定休)	11/8 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	11/9 ★9:30 環境講演会 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
11/10 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング ◎10:00 八幡橋魚類調査	11/11 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動 ◎13:30 かんきょうサロン	11/12	11/13	11/14	11/15 ◎13:30 まち美化啓発運動 ○本紙12月号投稿期限	11/16 ★9:00 北公民館かんきょう祭り2019 ◎13:50 イーブンライブ in 川越講演会
11/17 ★9:30 つばさ館まつり2019 ◎10:00 小畔川鎌取橋上流魚類調査 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	11/18 ◎8:45 かわごえエコツアー ○かわごえ環境フォーラム「環境活動報告」投稿・発表申込期限	11/19	11/20	11/21 ★10:00 大堀山館跡観察会	11/22	11/23 勤労感謝の日 ◎10:00 しめ縄飾り作り ◎12:30 ミニ収穫祭 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎15:00 田んぼ懇談会
11/24 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	11/25 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	11/26 ◆9:30 設立20周年記念出版委員会	11/27 ★9:00 事業運営委員会 ★10:00 理事会	11/28	11/29	11/30 ◎13:30 藻谷浩介氏講演会
12/1 ◎10:00 水生動物観察会	12/2	12/3 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	12/4 ◆9:00 広報委員会	12/5	12/6	12/7 ◎8:30 里山林保全活動(こもれび隊)
12/8 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング ◎10:00 ぐらしをいどる Farmer's Market ◎10:00 川歩き	12/9 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	12/10	12/11	12/12	12/13 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	12/14 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ★10:00 第1回SDGsエコフォーラム in 埼玉
12/15 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ○本紙1月号投稿期限	12/16 ○かわごえ環境フォーラム「環境活動報告」レポート投稿期限	12/17	12/18 ★9:00 事業運営委員会 ★10:00 理事会	12/19	12/20 ◎13:30 まち美化啓発運動	12/21
12/22 ★9:30 歳末まち美化活動	12/23	12/24	12/25	★: 会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●: 会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆: 理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎: 会員主催のイベント等 ○: その他 詳細は個別の記事をご覧ください		

月刊 かわごえ環境ネット 2019年11月号 No.157

発行日 2019年11月2日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net/>